

校内研修計画

勝沼小学校

1. 学校課題

本校では、24年度まで国語科を基本に書くことの力を伸ばす授業づくりについて研究し、大きな成果を上げた。25年度からは、その成果を生かし本校児童の「数学的な表現力を用いて、筋道を立てて自分の考えを説明するところが弱い」という実態から、「考える力・表現する力を育てる算数科授業」として、算数科の研究に取り組んだ。算数的活動を取り入れたことで、多様な考え方を出し合い、友だちとの交流を通して、自分の考えを深めることができた。しかし、自分の考えをもち表現するには、基礎的・基本的な知識や技能が十分に定着している必要がある。NRT 検査や学力学習状況調査などの結果から見ると、算数科においては学力差が大きく、自分の考えをもつまでに困難を感じている児童がみられるなど算数科の基礎・基本の定着を図る必要も感じられた。

このような実態から、本校では算数科における「考える力・表現する力」の育成とともに、基礎・基本の充実が課題と考えられる。

2. 研究主題

「自ら考え、進んで表現できる児童の育成」
～基礎・基本の充実を図る算数科指導の工夫を通して～

3. 主題設定の理由

今日の社会は、科学技術の進歩や経済発展の恩恵を受け豊かになるとともに、情報化、国際化、価値観の多様化、格差の拡大など変化の激しい社会へと急速に進んでいる。そういう社会に対して、子どもたちが生涯にわたって自分らしさを発揮し、心豊かに主体的により良く生きていく資質や能力を育成していくことは、もっとも重要な課題であると言える。また、国際学力調査からは、学習指導において基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用しながら、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力をはぐくむ授業改善を図ることが求められている。

本校においても『『かしこい子』を育てる』の教育目標のもとに「考えて学習する子ども」「強くたくましい子ども」「ぬくもりのある仲間づくりの出来る子ども」「真心をもって行動できる子ども」という4つの具体的児童像を掲げて、知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指している。しかし、本校の児童の様子から、学習の習熟度の二極化傾向や思考力・判断力・表現力を問う問題への苦手意識、学習意欲・学習習慣の不十分さなどの課題がある。そのため、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることによって、思考力・表現力をはぐくむ必要があるといえる。以上のことを踏まえ、本年度は昨年度の研究成果を生かしながら、算数科を中心に基礎・基本の充実を意識した授業改善に取り組むこととした。学習指導要領では、算数的活動を充実させ、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、数学的思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高めることが基本方針になっており、本校の解決すべき課題とも一致している。基礎・基本を確実に身に付けることで、子どもたちは主体的に学習ができ、さらに身に付けた力を使って課題に意欲的に取り組み、考える力・表現する力が育つだろうと考え研究主題を設定した。

4. 研究の具体的内容と方法

- ①児童の実態把握
- ②基礎・基本の定着を図る授業づくりをし、授業研究で検証する
- ③一人一実践を公開し、教師としての力量を高める。
- ④「Q-U」調査の実施と分析・活用の充実（甲州市確かな学力育成プロジェクト）
- ⑤家庭学習の手引の活用（甲州市確かな学力育成プロジェクト）

年間校内研修計画

新海 小緒里

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	TC 要請
①本年度の研究について	算数科	研究主任	全		
②本年度の校内研究について			全		
③児童の実態把握			全		
④ブロックの研究テーマ、研究計画について		ブロック長	ブロック		
⑤Q-U調査の分析、K13法について	学級集団づくり	研究主任	全		
⑥Q-U調査の分析結果について 学力把握調査の分析結果について	学級集団づくり				
甲州市「確かな学力」育成プロジェクト講演会①	学級集団づくり				
「授業づくり・授業改善」に関わる学習会①	算数科				
⑦教育課程環流報告	教育課程	研究主任	全		
⑧ブロック研究	算数科	ブロック長	ブロック		
⑨ブロック研究		ブロック長	ブロック		
⑩ブロック研究		ブロック長	ブロック		
⑪ブロック研究		ブロック長	ブロック		
⑫研究授業①の提案 全国学力・学習状況調査の分析		授業者	全		
⑬研究授業①	授業者			10月15日	要請
「授業づくり・授業改善」に関わる学習会②	教科指導				
「学級づくり・集団づくり」に関わる学習会①	学級集団づくり				
⑭ブロック研究	算数科	ブロック長	ブロック		
⑮研究授業②の提案		授業者	全		
⑯研究授業②		授業者			11月19日
甲州市「確かな学力」育成プロジェクト講演会②	学級集団づくり				
⑰Q-U調査の分析結果について		研究主任	全		
⑱ブロック研究の成果と課題について		ブロック長	ブロック		
⑲今年度の研究のまとめについて		研究主任			
「学級づくり・集団づくり」に関わる学習会②	学級集団づくり				
⑳ブロック研究の成果と課題		研究主任			
㉑今年度の成果と来年度の方向性について		研究主任			